

27. 広報委員会

広報委員長 阿戸 学

概要

広報委員会は、国立感染症研究所の研究活動等を広く社会に公表し、理解を得ることにより開かれた研究所とすることを目的として、広報活動に関する業務を遂行している。また、広報委員会の業務を円滑に遂行するために、各部・センター・省令室から委員一名を選出し、戸山庁舎および村山庁舎でそれぞれ、広報運営委員会を組織している。広報委員会の業務を支援するために、委員の他に、再任用職員 2 名が委員会業務をおこなっている。委員会の庶務は調整課で処理される。

広報委員会の活動内容は以下の通りである。

- (1) 研究所概要（パンフレット、広報ビデオ、インターネットホームページを含む）等の作成およびその更新・改定の実務。
- (2) 研究所一般公開の企画・運営に関わる実務。
- (3) 市民向けセミナーの企画・運営に関わる実務。
- (4) 研究所見学・研修ならびに出前授業、および取材対応に関わる業務。
- (5) その他広報に関すること。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、所に来場者を迎えて対面型で行うアウトリーチ活動の実施が極めて困難となった。村山庁舎、戸山庁舎広報運営委員会では、新型コロナウイルス感染症の流行の推移を観察しながら、オンラインでの発信を含めたアウトリーチ活動のあり方を模索した。その結果、両庁舎とも令和2年度の研究所一般公開は中止とし、次年度以降の流行状況を確認しながら、オンラインを含めたアウトリーチ活動の開催を検討することになった。

広報委員会で実施された業務の概要は以下のとおりである。

1. 武蔵村山市立雷塚小学校出前授業
2. 感染研訪問による見学・研修

業績

1. 武蔵村山市立雷塚小学校出前授業

雷塚小学校からの「病気の予防に関する授業」依頼に基づき、オンライン(zoom webinar)によって、令和3年2月26日に、6年生を対象とした授業2コマを実施した。講師は感染症疫学研究センター森野紗衣子主任研究官が、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症対策に関する講義を行った。現地において1名の研究職員・2名の事務職員が出向参加した。

2. 感染研訪問による見学・研修

令和2年度は3件の見学・研修があった。

(1)9月30日に、大阪教育大学附属高等学校平野校舎2年生3名が「東南アジアの蚊による感染症(主にデング熱)」について、Zoomによるインタビューを行い、昆虫医科

学部およびウイルス第一部が対応した。

(2)11月10日に群馬県立前橋高等学校1年生80名程度が「探求基礎」におけるオンライン研修(リモート)を行い、感染病理部および真菌部が対応した。

(3)1月13日に国立病院機構災害医療センター医師1名が戸山庁舎を訪問し、感染研での疫学研究、FETPの業務につき見学した。広報委員会および感染症疫学センターが対応した。